

アクティブラーニング型活動への 招待

～ 自分で教材を作ってみませんか ～

兵庫日本語ボランティアネットワーク

協力団体

(公益財団法人)兵庫県国際交流協会

(公益財団法人)神戸国際協力交流センター

平成 29 年度文化庁委託事業「生活者としての外国人」のための日本語教育事業【プログラム A】

この教材について

この教材は、「学習者にもっと日本語で話してほしい。」と思っているボランティアに使ってほしいと思い作りました。

「アクティブラーニング」なんて難しいことばを使っていますが、この教材を作ろうと思ったきっかけは、日本語教室での「ふつうの活動」を見たことからでした。

その「ふつうの活動」とは、ボランティアがいっしょうけんめいに「話す」、あるいは「説明する」姿でした。ボランティアたちは、学習者の日本語学習の役に立とうと思い、懸命に日本語を説明するのですが、その分、学習者が話す時間が少なくなっていると思ったのが、この教材を作るきっかけになりました。

日本語教室は、日本語を話すことに慣れていない学習者の練習の場です。ですから、学習者が日本語を話す練習をする時間を与えねばなりません。ボランティアがいっしょうけんめいに話しては、学習者が話す時間がなくなってしまいます。

私たちは、説明ではない日本語支援をするために、「アクティブラーニング」を利用することを思いつきました。「アクティブラーニング」は、「能動的学習」と訳されます。「アクティブラーニング」を取り入れた活動では、ボランティアは、学習者が能動的に活動に参加することを促します。日本語支援にこの方法を取り入れれば、学習者の発話時間を増やすことができるのではないかと考えました。

この教材では、まず、ボランティアが「アクティブラーニング」とは何かを知ることから始められるようにしています。次に、「アクティブラーニング」を取り入れた活動とはどのようなことかについて考えます。そして、自分が考えた「アクティブラーニング」を取り入れた活動をするための教材作りに挑戦します。

日本語支援は、ボランティア自身が「面白い」と思えなくては継続できません。「面白い」と思うためには、「こんどはこうしよう。」とか、「この方法は、次も使える!」とか、「そうか、ああすればよかったんだ。」と自分の行動を振り返りながら次につなげることが肝心です。日本語はこう教えるものだと言われたことをするのではなく、自分の実践を振り返り、そして次に生かし、さらに振り返るという循環の中で、自分らしい日本語支援ができるようになります。

魔法のような支援方法はありません。あることを知っただけでは日本語支援に活かせるわけではなく、知ったあと、試行錯誤しながら自分のものにしていくしかないのである。ある日、「きょうは、学習者がたくさん話してくれた!」とか、「私が教えた日本語で学習者同士が話をしていた!」などと思ったとき、自分の腕が上がったと実感できるのではないだろうか。

この教材を参考に、自分の実践に合った教材を作ってみてください。

平成 30 年 3 月 吉日

作成メンバー 一同

目次

1 アクティブラーニングってなに？.....	3
3つの授業を比べてみよう！.....	3
自分の活動を振り返ってみよう！.....	4
アクティブラーニング型の活動をやってみよう！.....	5
学習者の参加を促す方法を考えよう！.....	6
2 教材を作ろう！.....	7
アクティブラーニング型の活動を取り入れた教材作成のための参考教材集	9
Lesson1 わたしの家族.....	10
Lesson2 レストラン.....	18
Lesson3 きのう・あした.....	26
Lesson4 好きなもの・好きなこと.....	35

1 クティブラーニングって何？

「学習者にもっと日本語で話すようになってほしい。」という願いは、日本語教室で支援をしているボランティア共通のものではないでしょうか。学習者の会話力を上げるためには、日本語教室でたくさん話してもらいましょう。学習者が日本語の細かい間違いを気にせず大きい声で話すように、ボランティアが工夫しないといけません。

日本語教室は、日本語を練習する場所です。学習者の発話時間を多くとるように心掛けましょう。ボランティアが学習者にいろんな説明をしていては、学習者が練習をする時間がなくなってしまいます。学習者がボランティアの説明を聞くだけでなく、自分で考えたことを発話したり、自分の考えを書いたりして、能動的に参加できる活動にしましょう。

ここでは、学習者が能動的に学ぶことを意味するアクティブラーニングについて考えていきましょう。



3つの授業を比べてみよう！

下のA・B・Cのイラストは、どれも授業風景です。3つの授業を見て感じたことを書きましょう。

(A)



(B)



(C)



上の3つの授業から、どんなことを感じましたか。

(A)

(B)

(C)



自分の活動を振り返ってみよう！

あなたが日本語教室で行っている学習者との活動を思い出してください。それは、前ページの授業のどれに近いでしょう？また、自分はなぜ、そのような活動をしているのかを考えてみましょう。

☆ あなたの活動は、前ページのどれに近いですか。

☆ なぜ、そのような活動をしているのですか。自分の経験や、自分が良いと思っていることなどについて、じっくり考えてみましょう。

アクティブラーニングって何？

アクティブラーニングは「能動的学習」と訳されます。ただ単に身体を使う学習という意味ではありません。学習者が書いたり話したりしながら積極的に授業に参加することにより、新しく考え出したり、物事を批判的に捉えたり、問題解決を図ったりすることを、アクティブラーニングと呼びます。

伝統的な考え方では、授業は教師が一方向的に説明をするものであると考えられていました。しかし、新しい考え方では、教師が「教える」ことより学習者が「学ぶ」ことが重要であると考えます。そこでの教師は、学習者が自ら学習を産み出し、知識を構成していく過程や、それに伴いどのように変化していくかに注目します。

日本語教室での活動をアクティブラーニングをにするには、どのような工夫をすればいいのかを考えてみましょう。



アクティブラーニング型の活動をやってみよう！

何か人に教えたいことを考えてください。自分が好きなこと、人から教えてもらったことなど、なんでもいいです。教えたいことを考えたら、①説明型、②アクティブラーニング型、の2つの方法で、話すとおりに書いてください。①と②は同じ内容です。ただ、話し方が違うということです。

①には、ひたすら説明をする言い方を書いてください。

②には、聴き手を参加させることを意識した話し方を書いてください。

① 説明型

②アクティブラーニング型



学習者の参加を促す方法を考えよう！

どうでしたか。2つの説明方法が区別できましたか。

①の説明型は、こちらのペースでひたすら話せばいいので楽だったのではないのでしょうか。それに比べて②のアクティブラーニング型のほうは、どのように聴き手を参加させればいいのか为难しかったのではないのでしょうか。ここで、聴き手を参加させる方法を考えてみましょう。

(1) 質問をする

まず質問をしましょう。相手が話題についてどれくらい知っているかを聞きましょう。「花子さん、腰痛にいいストレッチって知っていますか。」と質問すれば、その後の会話がいろいろな展開をすることでしょう。

〈展開例その1〉

私：「花子さん、腰痛にいいストレッチって知っていますか。」

花子：「ええ、知っていますよ。TVでやっていました。」

私：「そうなんですか。どんなストレッチですか。」

～つづく～

〈展開例その2〉

私：「花子さん、腰痛にいいストレッチって知っていますか。」

花子：「ううん、知りません。腰痛じゃないので、気にしないかな～」

私：「ああそうなんですね。花子さんの周りに腰痛の人はいないんですか。」

花子：「あ～、そういえば、父がときどき腰が痛いって言ってます。」

～つづく～

(2) 動作をする

なんらかの動きを伴う内容の場合は、ことばでの説明だけではなく、動作を取り入れましょう。最初に自分が動いて見せて、次に聴き手にも同じ動作をしてもらいましょう。自分が動作をして見せても、見せるだけでは説明するのと同じになりますので、聴き手のペースに合わせて、少しずつ動作を進めていきましょう。

(3) イメージする時間をとる

聴き手が内容を十分にイメージできるように、途中で絵を書いてもらったり、感想を言ってもらったりしましょう。「こちらのペースで一気に説明して終了」では、聴き手の脳内処理がうまくできていないかもしれません。

(4) できるだけ自分の発話を減らすことを心掛ける

聴き手の参加を促すということは、その分、自分の出番を抑えるということです。「教えてやろう！」という意気込みを少しばかり抑えて、聴き手の出番を多くすることを忘れないようにしましょう。

2 教材を作ろう！



アクティブラーニング型の活動をするための教材を作ってみましょう！
8 ページ以降の「参考教材集」を見ながら作りましょう。

参考教材集の課は、次の4 つです。

Lesson1 私の家族

Lesson2 レストラン

Lesson3 きノウ・あした

Lesson4 好きなこと・好きなもの

参考教材集はどの課も、次の4 つの項目から成っています。

I 話しましょう

II 新しい言葉

III 文型

IV アクティビティー

各項目の役割と教材作成のコツは、次のようなことです。

I 話しましょう

この項目の役割

- 教材を作るために取り上げたテーマで、学習者がどのくらい話せるかをチェックする。

教材作成のコツ

- 書き言葉に頼らずに会話ができるものを用意しましょう。教材の掲載する絵や写真だけではなく、実物を持参するのもいいでしょう。

II 新しい言葉

この項目の役割

- 取り上げたテーマに必要な言葉を提示する。

教材作成のコツ

- 最初は、思いついた言葉をどんどん書いてみましょう。そのあとで、取捨選択をしましょう。

Ⅲ 文型

この項目の役割

- 取り上げたテーマを話すために必要な文型を提示する。

教材作成のコツ

- 自分でテーマに沿って話してみてください。その時、どんな文型を使いましたか。それをもとに、どんな文型を提示するかを考えましょう。

Ⅳ アクティビティー

この項目の役割

- 「話す」「書く」「やってみる」など、さまざまなアクティビティーをすることにより、取り上げたテーマについて日本語で表現できるようにする。

教材作成のコツ

- 役割を決めて会話練習をやってみてもいいでしょう。また、きょう学んだ日本語を使って教室外の日本人と話すことを課題に出すのもいいでしょう。

いかがですか。

現在一緒に活動をしている学習者のための教材が作れそうですか。

市販の教材を使ってもアクティブラーニング型の活動はできるのですが、学習者の会話力やレベルに合わせて教材を作れば、学習者と自分の思いどおりの活動ができますね。

一度に作るのは大変なので、1課の一部分、例えば、「Ⅰ 話しましょう」だけを作成してみてもいいでしょう。そして、「Ⅱ 新しい言葉」は特に作成せず、活動の場でスケッチブックや紙に書いたりして、学習者と共有してもいいでしょう。また、「作らねば!」と思うのではなく、いいテーマを思いついたら作るとか、市販の教材を使っていて、その教材に足したいことがある場合などに作るものいいでしょう。

作成した教材は大切にファイリングし、新しい学習者と一緒に使う場合は、その学習者に合わせて一部分を改訂すれば、1つのテーマでもいろいろな種類の教材ができますよ。



アクティブラーニング型の活動を取り入れた教材作成のための
参考教材集

Lesson 1 わたしの家族

Lesson 2 レストラン

Lesson 3 きのう・あした

Lesson 4 好きなもの・好きなこと

Lesson 1 わたしの家族

もくひょう
目標: レベル1 かぞく よ な い 家族の呼び名が言える。

レベル2 かぞく しごと とし い 家族の仕事と年が言える。

レベル3 かぞく しょうかい 家族の紹介ができる。

【I はな 話しましょう】 え 絵を み みて 話 話しましょう。

①



②



③



活動のポイント

学習者に、既習の日本語を使って自由に発話してもらいましょう。完璧な日本語を要求するのではなく、ファシリテータとして、学習者の発話を促すことに集中しましょう。

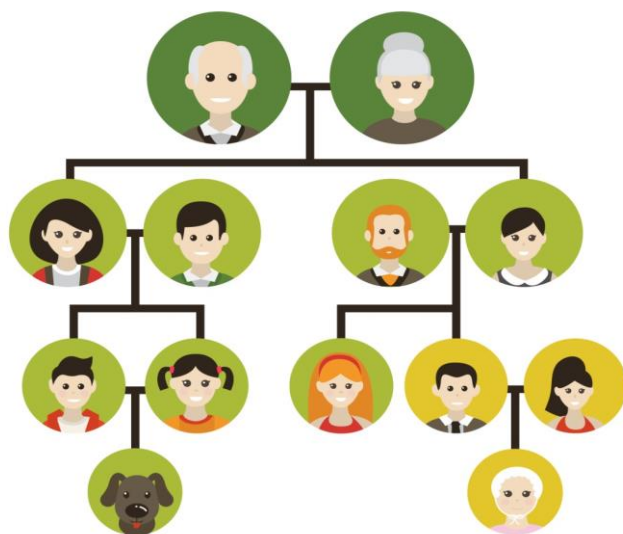


チェックポイント

親族の名称、恋人、友達などの基本的な単語を知っているか確認します。

【Ⅱ ^{あたら}新しい^{ことば}言葉】

★^{かぞく}家族



designed by freepik.com

<わたしの^{かぞく}家族>



※ ^{かぞく}ともだちの家族は「～さん」をつけています。

家族(かぞく)		名前(なまえ)	年(とし)	仕事(しごと)
ともだち	わたし			
おとうさん	ちち			
おかあさん	はは			
おにいさん	あに			
おねえさん	あね			
おとうとさん	おとうと			
いもうとさん	いもうと			
おじいさん	そふ			
おばあさん	そば			
ごしゅじん	おっと			
おくさん	つま			

活動のポイント

まず、学習者に知っている言葉を書いてもらいましょう。その後、学習者が知らない言葉を確認しましょう。

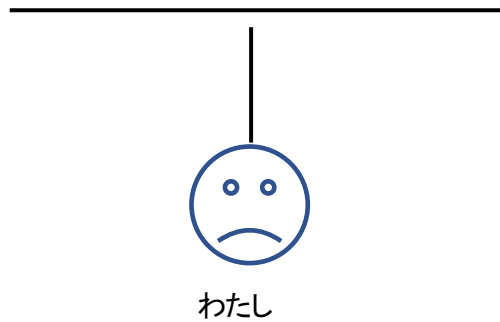
活動のポイント

仕事の名前や年の言い方は後のページにできます。知らなければ名前だけ書いてもらって、あとから表を完成させましょう。

チェックポイント

自分の家族と、相手の家族では言い方が違うことがわかっているか確認します。

かぞく
＜わたしの家族＞



★ よ
読みかたをかきましょう！

すうじ	ひと	とし
1 いち	1人 ()	1さい ()
2 に	2人 ()	2さい ()
3 さん	3人 ()	3さん ()
4 よん	4人 ()	4さい ()
5 ご	5人 ()	5さい ()
6 ろく	6人 ()	6さい ()
7 なな	7人 ()	7さい ()
8 はち	8人 ()	8さい ()
9 きゅう	9人 ()	9さい ()
10 じゅう	10人 ()	10さい ()

20さい ()



チェックポイント

数字と、人の数え方、年齢の言い方がわかっているか確認します。20歳は「はたち」になることも加えましょう。

★ けいようし 形容詞
けいようし い形容詞とな形容詞

え けいようし
絵と形容詞をむすびましょう

①



まじめな

②

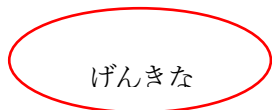


おもしろい

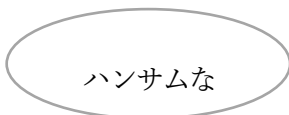
③



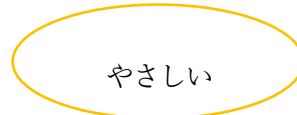
きれいな



げんきな



ハンサムな



やさしい

④



⑤



⑥



わけましょう！

けいようし
い形容詞()

けいようし
な形容詞()



活動のポイント

まず、絵を見て、学習者に知っている形容詞を自由に言ってもらいましょう。その後、学習者が知らない言葉を提示しましょう。



チェックポイント

い形容詞とな形容詞に分けられるか確認しましょう。

知らなければ、「～い人」のように名詞の前が「い」になるものと、「～な人」のように「な」になるものがあることを確認します。

★ しごと
仕事

しごと
仕事をかいてください。

①() 	②() 	③() 
④() 	⑤() 	⑥() 
⑦() 	⑧() 	⑨() 

しごと ことば
＜仕事の言葉＞

がくせい かいしゃいん ぎんこういん

けいさつかん しゅふ のうか

きょうし いし びようし



活動のポイント

まず、絵を見て、学習者が知っている仕事の名前を言ってもらいましょう。その後、学習者が知らない言葉を提示しましょう。



チェックポイント

よくできる学習者の場合は、仕事の名前には「〇〇し(例:看護師)」「〇〇いん(例:会社員)」のようなパターンがあることを確認してもいいでしょう。また、もっと色々な仕事の名前を導入してもいいでしょう。

【Ⅲ ぶんけい 文型】

1 は ^{めいし} 名詞 です。

① 家族は ^{かぞく} 4人 です。

② いもうとは 15さい です。(とし)

③ いもうとは ^{がくせい} 学生 です。(しごと)

④ いもうと ^{なまえ} の 名前 は あき です。(なまえ)

2 は ? ですか。

① 家族は ^{かぞく} なんにん ですか。

② おかあさんの ^{なまえ} 名前 は なん ですか。

③ おかあさんは、^{ひと} どんな人 ですか。

3 は ^{けいようし} 形容詞 です。

^{けいようし}
い形容詞…やさしい、おもしろい

^{けいようし}
な形容詞…きれいな、ハンサムな、げんきな、まじめな

① あねは やさしい です。

② あねは きれい です。

③ あには まじめ です。

④ あには ハンサム です。



活動のポイント

「AはBです」という文型で、年齢、仕事、名前、国籍など色々なことを言ってもらいましょう。④のような、「～の～」という文型もできそうなら導入しましょう。



活動のポイント

色々な疑問詞と、疑問文の作り方を勉強して、質問できるようにしましょう。



チェックポイント

3で形容詞を勉強して、4で形容詞が名詞の前にくる連体修飾を学びます。



4 は ^{けいようし} 形容詞 ^{ひと} 人 です。

① あねは きれいな ^{ひと} 人です。

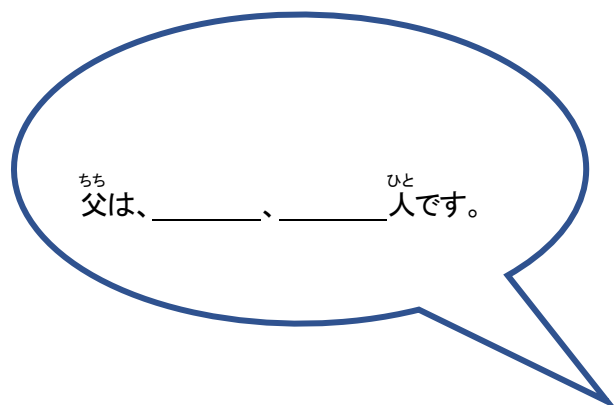
② あには まじめな ^{ひと} 人です。

③ ^{ともだち} 友達は やさしい ^{ひと} 人 です。

5 は ^{けいようし} 形容詞1 ^{ひと} て(で)、 ^{けいようし} 形容詞2 ^{ひと} 人 です。

^{けいようし} い形容詞 おもしろい + ^{ひと} げんきな → おもしろくて、^{ひと} げんきな人です。

^{けいようし} な形容詞 きれいな + ^{ひと} げんきな → きれいで、^{ひと} げんきなひとです。



チェックポイント

形容詞を2つつなげた言い方を勉強します。すでに学習済みの学習者には、自分の家族を、2つの形容詞をつなげた言い方で言ってもらいましょう。

【IV. アクティビティ】 かきましょう！

かぞく しやしん
家族の写真

かぞく
わたしの家族



活動のポイント

まだ、日本語が書けない学習者の場合は、写真を見ながら話してもらうだけでもかまいません。



活動のポイント

時間がかかる場合は、宿題にして家で書いてきてもらってもいいでしょう。

Lesson 2 レストラン

もくひょう

目標: レベル 1 食べ物の名前が言える

レベル 2 注文できる

レベル 3 希望が言える

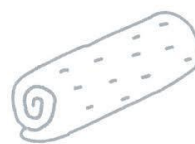
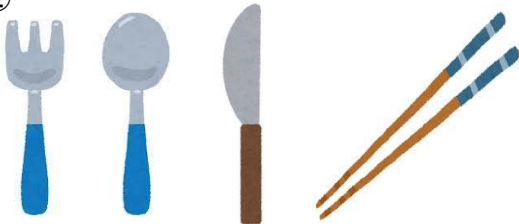
【I はな話しましょう】 えみ はな 絵を見て話しましょう。

全レベル共通

①



②



③



④



活動のポイント

学習者に、既習の日本語を使って自由に発話してもらいましょう。完璧な日本語を要求するのではなく、ファシリテーターとして、学習者の発話を促すことに集中しましょう。



チェックポイント

食べ物屋の種類やそこで使用する物の名前、またそれらの場面で使うことばを確認しましょう。

レベル1

【I ^{はな}話しましょう】

★メニュー

たべもの
食べ物



のみもの
飲み物



活動のポイント

まず、学習者に知っている言葉を言ってもらいましょう。その後、学習者が知らない言葉を確認しましょう。



活動のポイント

単品、セット、定食などのレストランでよく使われることばも一緒に練習しましょう。

【Ⅱ 新しい言葉】

①



フォーク



スプーン



ナイフ



(お)はし

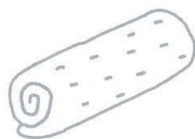


チェックポイント

余裕があれば、スプーンやおはしなどの数量詞も一緒に確認しましょう。



れんげ



おしぼり



かみ
紙ナプキン



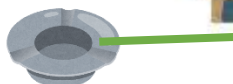
つまようじ

②

きつえん
喫煙



はいざら
灰皿



きんえん
禁煙

③



けん
〇〇券

レベル 2

【Ⅰ ^{はな}話しましょう】

★^{ちゅうもん}注文してみましょう。



チェックポイント

前のページの料理を見ながら注文をしてみましょう。

⇒できればレベル 2 の文型で確認してください。

【Ⅱ ^{あたら}新しい^{ことば}言葉】

★^よ読み^かかたを書きましょう！



すうじ	^{りょうり} 料理	ひと 人	？
1 いち	1つ ()	1人 ()	
2 に	2つ ()	2人 ()	
3 さん	3つ ()	3人 ()	
4 よん(し)	4つ ()	4人 ()	
5 ご	5つ ()	5人 ()	
6 ろく	6つ ()	6人 ()	
7 なな	7つ ()	7人 ()	
8 はち	8つ ()	8人 ()	
9 きゅう	9つ ()	9人 ()	
10 じゅう	10 ()	10人 ()	



活動のポイント

料理の数え方を確認しましょう。表の「？」の列は学習者が必要な数量詞を記入しましょう。(例: 枚、本、冊など)

【Ⅲ 文型】

1 _____を ください。

① メニューを ください。

② おしぼりを ください。

③ お水を ください。

④ 灰皿を ください。

2 _____を 数詞 ください。

① ハンバーグを 1つ ください。

② ビールを 6つ ください。

③ オムライスセットを 1つ と、お子様ランチを 2つ ください。

④ 牛丼の大盛りを 3つ ください。

レベル 3

【Ⅱ 新しい言葉】

★ 形容詞

絵と形容詞をむすびましょう。

①



②



③



④



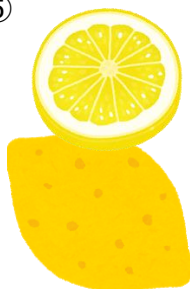
すっぱい

にがい

あまい

からい

⑤



⑥



⑦



⑧



活動のポイント

「Aを数詞ください」という文型を練習します。

③では二つのものを結ぶ「と」、④は名詞と名をつなぐ連体修飾の形も練習します。



活動のポイント

味覚を表す形容詞と一緒に食べ物言葉も確認しましょう。

「すっぱい」「にがい」「あまい」「からい」味のする食べ物(駄菓子など)を用意し、その場で実際に食べるにより学習者の理解が深まります。

りょうり かんが
どんな料理があるか 考えよう！

あまい ()

からい ()

にがい ()

すっぱい ()

★ いろいろなことば

① 予約	② おすすめ	③ 大盛り	④ おかわり
⑤ 食べ放題	⑥ ドリンクバー	⑦ 持ち帰り	⑧ アレルギー

★ いろいろなたべもの

① たまご	② 牛乳	③ 小麦	④ そば
⑤ ピーナッツ	⑥ えび	⑦ かに	⑧ いか
⑨ たこ	⑩ 豚肉	⑪ 牛肉	⑫ にんにく



活動のポイント

学習者の国の料理や学習者が日本で食べたことがある料理などについて聞くことで、学習者の発話を促せます。



チェックポイント

まず、学習者に知っている言葉を言ってもらいましょう。その後、学習者が知らない言葉を確認しましょう。



活動のポイント

ここには、アレルギー源になりやすい食べ物や、宗教上食べられない物などを提示しています。

他にも学習者や家族が苦手な食べ物について聞いてみましょう。

【Ⅲ 文型】

1 _____は 味覚の形容詞 ですか。

- ① カレーは からい ですか。
- ② 梅干しは すっぱい ですか。
- ③ ケーキは あまい ですか。
- ④ ピーマンは にがい ですか。

2 _____ ねが お願いします。

- ① 禁煙席で きんえんせき おねがいします。
- ② 注文 ちゅうもん おねがいします。
- ③ (お勘定を) 別々で べつべつ おねがいします。
- ④ 持ち帰りで も かえ おねがいします。

3 _____は はいっていますか。

- ① たまごは はいっていますか。
- ② 豚肉は ぶたにく はいっていますか。
- ③ 牛肉は ぎゅうにく はいっていますか。
- ④ にんにくは はいっていますか。



【ロールプレイ】

— レストラン —

店員: てんいん いらっしゃいませ。何名さまですか？ なんめい

客: きやく 大人2人と、子ども1人です。 おとなふたり こ ひとり

店員: おたばこは吸われますか？ す

客: はい。喫煙席でお願いします。/いいえ。禁煙席でお願いします。 きつえんせき ねが きんえんせき ねが

店員: では、こちらどうぞ。

客: すみません。注文をお願いします。 ちゅうもん ねが

店員: はい。かしこまりました。

客: ハンバーグを1つと、オムライスを1つと、お子様ランチを1つください。 こさま

店員: はい。ハンバーグを1つ、オムライスを1つ、お子様ランチを1つですね。少々お待ちください。 こさま しょうしょう ま



活動のポイント

「Aは味ですか」という文型を練習します。食堂で自分が注文したい料理がどんな味なのかを聞くときに使えます。レベル2の【I 話しましょう】で使ってみましょう。



活動のポイント

「Aは はいっていますか」という文型を練習します。この文型で、アレルギー源や宗教上食べてはいけない食べ物が入っているかどうかを聞くことができます。



活動のポイント

レストランの場面、ファストフード店以外にも、メニューが用意できれば、すし屋、ピザ屋などいろいろな店で注文する場面を練習しましょう。



活動のポイント

会話文は、学習者のレベルに合わせて変えましょう。店員役の支援者は左の会話文のとおり話し、学習者には自分のレベルに合った答え方をしてもらってもかまいません。

— ファストフード —



店員: いらっしゃいませ。

てんない め あ も かえ
店内でお召し上がりですか、お持ち帰りですか？

も かえ ねが
客B: 持ち帰りをお願いします。

ちゅうもん
店員: ご注文をどうぞ。

客A: チーズバーガーセットを1つください。

客B: スペシャルチキンバーガーセットを1つください。

あのー、すみません。スペシャルチキンバーガーは

はい
たまごが入っていますか？

はい
店員: たまごは入っておりません。

ねが
客B: じゃあ、スペシャルチキンバーガーセットを1つお願いします。

かいけい
店員: お会計はいかがなさいますか？

べつべつ ねが
客AB: 別々でお願いします。

しょうしょう ま
店員: かしこまりました。少々お待ちください。

Lesson 3 きのう・あした

もくひょう

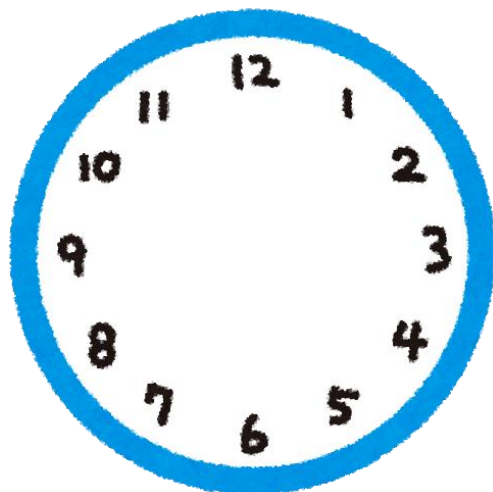
目標: レベル1: 時間が言える

レベル2: ます形を使って、明日の予定が言える

レベル3: 過去形を使って昨日のことが言える

【I. はな 話しましょう】

じかん
① 時間を言いましょう



② 「あした ~します」 を書きましょう。い 言いましょう。



おきます



ねます



③ 「きのう ~しました」 を い 言いましょう。



活動のポイント

学習者に、既習の日本語を使って自由に発話してもらいましょう。完璧な日本語を要求するのではなく、ファシリテータとして、学習者の発話を促すことに集中しましょう。



チェックポイント

- ①: 時間が言える
- ②: ます形を使って、明日の予定が言える
- ③: 過去形を使って昨日のことが言える

あたら ことば
【Ⅱ. 新しい言葉】

レベル1



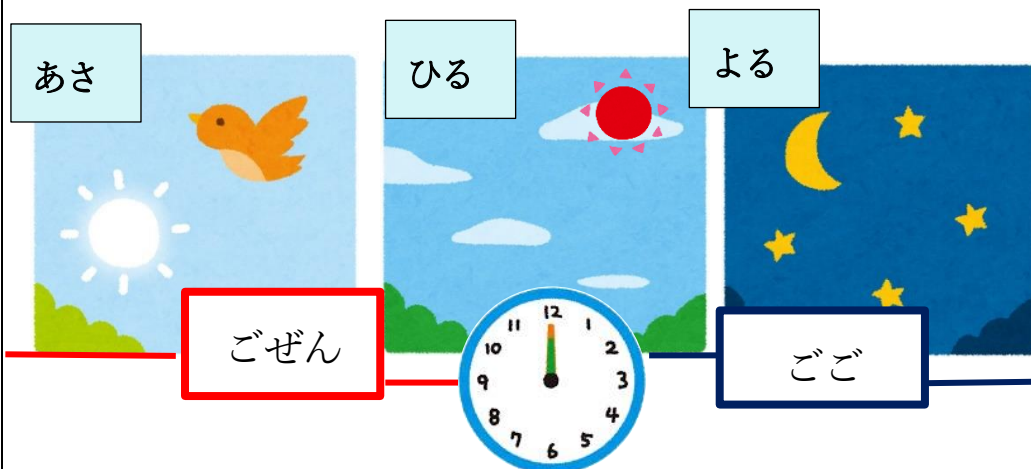
よ
読みかたをかきましょう！

すうじ	じかん
1 いち	1じ()
2 に	2じ()
3 さん	3じ ()
4 よん	4じ ()
5 ご	5じ ()
6 ろく	6じ ()
7 なな	7じ ()
8 はち	8じ ()
9 きゅう	9じ ()
10 じゅう	10じ ()
11 じゅういち	11じ ()
12 じゅうに	12じ ()

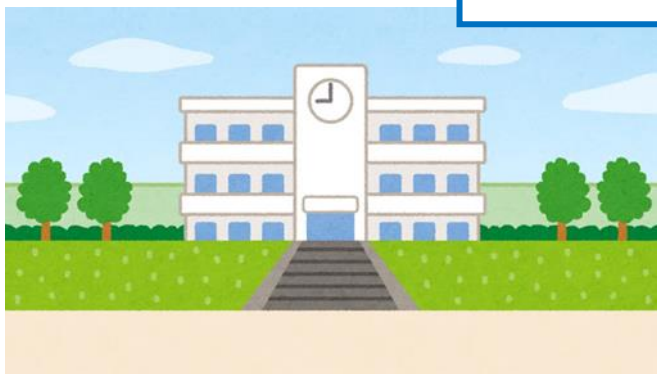


活動のポイント

まず、学習者に知っている言葉を言ってもらいましょう。その後、学習者が知らない言葉を確認しましょう。



レベル2



活動のポイント

まず、学習者に知っている言葉を言ってもらいましょう。その後、学習者が知らない言葉を確認しましょう。

絵1



活動のポイント

- 「で」の動詞と「行きます」は前のページで習った名詞と一緒に言う練習をしましょう。
- 「勉強します」は「日本語を勉強します」「学校で勉強します」が言えることを学習者に言いましょう。
- 「を」「に」の動詞は名詞と一緒に教えましょう。1 段目右「日本語を勉強します」2 段目左「お茶を飲みます」等
- 学習者に合わせて導入する名詞や動詞を変えてもいいですね。
- 「行きます」は「へ」「に」どちらでも使うことができます。と伝えましょう。

で 	で 	で を 
を 	を 	を 
を 	を 	を 
に 	に 	に へ 

9じに ごはんを ^た食べます。



あさ ^{がっこう}学校で ^{べんきょう}勉強します。



ごご12じに ^{とも}友だちに ^あ会います。



～じから～じまで ^{にほんご}あさの9じから ^{べんきょう}ひるの1じまで 日本語を勉強します。



～



 活動のポイント

- 一緒に絵を見て確認してみましょう。
- 学習者に「私は8じにご飯を食べます。〇〇さんは？」等と聞いて、練習してもらいましょう。

 活動のポイント

「～から～まで」を導入します。学習者が分かっているか一緒に見ながら確認しましょう。

あさからよるまで テレビを^みます。



～



れんしゅう

1.



活動のポイント

学習者に絵を見て、時間、場所、動詞を言ってもらいましょう

2.



3.



～



レベル3

6/20	6/21	6/22
きのう	きょう	あした
とも 友だちに会いました。		友だちに会います。

あした します

わたしは あした ごご8じからごご11じまで ^{べんきょう}勉強をします。

あした



～



わたしは あしたの よる おふろに はいります。

あした



^え絵1を「あした～します」で言ひましよう。

^{なに}Qあした何をしますか？ ^い言ひましよう。



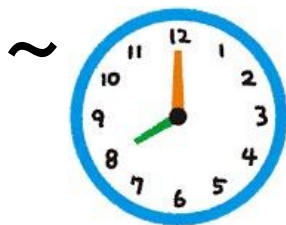
活動のポイント

- きょう、きのう、あしたを確認しましょう。
- あした ます形 であることを学習者に理解してもらいましょう。

きのう しました

わたしは きのう ごご8じからごご11じまで ^{べんきょう}勉強を **しました。**

きのう



わたしはきのうの よる おふろに ^{はい}**入りました。**

きのう



^え絵1を「^いあした～します」で言いましょう。

^{なに}Qあした何をしますか？ ^い言いましょう。



活動のポイント

- きのう 過去形 であることを学習者さんに理解してもらいましょう。
- 過去形は、例) 会います → 会いました で作ることを教えましょう。

ぶんけい
【文型】

～じに

9じに ^{がっこう い} 学校へ行きます。

時間のことはの～じに

ひるの11じに ^{とも あ} 友だちに会います。

ごぜん/ごご ～じから～じまで

ごぜん9じからごご1じまで ^{がっこう べんきょう} 学校で勉強します。

あした ます形

あした 友だちに 会います。

きのう 過去形

きのう ^{はい} お風呂に入りました。



活動ポイント

時間が言えているか、明日と昨日の時に動詞がちがう事を理解しているかここで確認しましょう。

Lesson 4 好きなもの・好きなこと

目標: L1 すきなものが言える。

L2 辞書形を使って、好きなことが言える。

L3 すきな理由・すきじゃない理由が言える。

【I. 話しましょう】絵を見て話しましょう。



活動のポイント

①、②、③はレベル別になっているため、学習者に①から順番に自由に会話をさせる。

教師はあくまでファシリテーターとして、学習者の発話を促すこと。



活動のポイント

レベル別のポイント

Lv.1…名詞+好きです。

名詞+好きじゃありません。

Lv.2…辞書形+好きです。

辞書形+好きじゃありません。

Lv.3…イ形容詞、ナ形容詞+からです。



チェックポイント

イラストの単語を知っているか初めに確認しましょう。知らなければ、語彙導入をします。

【Ⅱ. 新しい言葉】

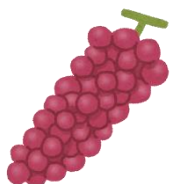
Lv.1

①くだもの・やさい・スポーツ

★()



()



()



()



()

★()



()



()



()

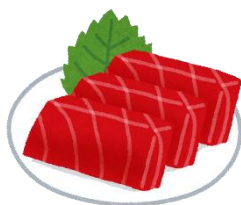


()

★()



()



()



()



ほか 他にどんな料理がありますか？

※日本の料理…()

韓国の料理…()

ベトナムの料理…()



チェックポイント

イラストを見て、学習者と共に語彙を確認した後、カテゴリー（野菜・果物など）を確認する。



活動のポイント

学習者が積極的に発話する環境を作る。教師が全て語彙を教授しない。



活動のポイント

学習者が他に知っている日本料理を聞いてみよう。日本の食文化を併せて教えても良い。



あなた^{くに}の料理^{りょうり}は？

() 料理^{りょうり}

★()



() () () ()

【Ⅲ. 文型】

Lv.1

わたし^{わたし} 私は **名詞**^{めいし} が好き^すです。

① 私は **ケーキ**^{ケーキ} が好き^すです。

② 私は **日本料理**^{にほんりょうり} が好き^すです。

③ 私は **AKB48**^す が好き^すです。(人の名前^{ひと なまえ})

④ 私は **サッカー**^す が好き^すです。(スポーツ)

2 あなたは **名詞**^{めいし} が好き^すです **か**。

① あなたは **ケーキ**^{ケーキ} が好き^すです **か**。

② あなたは **日本料理**^{にほんりょうり} が好き^すです **か**。



活動のポイント

学習者の母国の料理について
学習者に日本語で説明させる。



活動のポイント

Lv.1 の語彙導入のスポーツの
部分は名詞のみ導入する。
(例: サッカー、野球)



チェックポイント

「名詞+好きです。」の文型を学
習する。

③ あなたは AKB48 が好きです か。

④ あなたは サッカー が好きです か。

3 あなたは 何が 好きです か。

わたし めいし 名詞 が好きです。

① A: あなたは 何が 好きです か。

B: 私は ケーキ が好きです。

② A: あなたは 何が 好きです か。

B: 私は サッカー が好きです。

(れんしゅうしましょう)



なまえ
名前: かおりさん

いちご ず 好き: サッカー



なまえ
名前: はなこさん



なまえ
名前: たなかさん

ず 好き: トマト



なまえ
名前: やまださん

ず 好き: 韓国料理



なまえ せんせい
名前: 先生

ず 好き: ?



チェックポイント

名詞には人の名前や料理の名前、スポーツの名前を入れることができることを確認させる。



①あなたの好きなものを書いてください

わたしは _____ が好きです。

②好きなこと(インタビューをしてください)

〇〇さん	好きなこと



活動のポイント

絵を描かせてもよい。



活動のポイント

宿題として友人や家族にインタビューさせ、次の時間に日本語で発表させる。

あたら ことば
【Ⅱ. 新しい言葉】

Lv.2

どうし か
②動詞を書いてください。

①() 	②() 	③() 
④() 	⑤() 	⑥() 

⑦() 	⑧() 	⑨() 
---	---	--

⑩() 	⑪() 	⑫() 
---	---	--



活動のポイント

イラストを見せて、動詞のに導
する。(①～⑧)



活動のポイント

余裕があれば、以下も導入。

④…学校に(へ)行きます

⑤…友達と話します

⑥…友達と遊びます



活動のポイント

⑦～⑨は Lv.1 のスポーツのイ
ラストと同じだが、こちらでは動
詞としても扱えることを学生に
教授する。

(例: サッカーをします)



活動のポイント

⑩～⑫…

(名詞)を 動詞

助詞は「を」を使うことを教授。

(例: 音楽を聴きます

りんごを食べます)

⑬() 	⑭() 	⑮() 
⑯() 	⑰() 	

ぶんけい
【Ⅲ. 文型】

Lv.2

1 わたし どうし じしょけい
私は **動詞(辞書形)** ことが好きです。

① わたし
私は **ピアノをひく** ことが好きです。

② 私は **テニスをする** ことが好きです。

③ 私は **寝る** ことが好きです。

2 わたし どうし じしょけい
私は **動詞(辞書形)** ことが好きです **か**。

はい、好きです。/ いいえ、好きじゃありません。

① A: あなたは **ピアノをひく** ことが好きです **か**。

B: はい、好きです。/ いいえ、好きじゃありません。

② A: あなたは **テニスをする** ことが好きです **か**。

B: はい、好きです。/ いいえ、好きじゃありません。



チェックポイント

動詞の辞書形が理解できているか確認する。もしできていなければ、下記の辞書形の導入を行う。

3 あなたは^ね寝^することが好きです^か。

はい、好きです。/ いいえ、好きじゃありません。

4 あなたは ^{なに}何^をする^{こと}が好きです^か。

わたし ^{どうし} ^{じしょけい}動詞(辞書形) ^すことが好きです

① あなたは^{なに}何^をする^{こと}が好きです^か。

私は^{ピアノをひく}ことが好きです。



^{じしょけい}★辞書形 かきましょう。

^か 書きます		^ね 寝ます	
^き 聞きます		^し 閉めます	
^よ 読みます		^{べんきょう} 勉強します	
^あ 開けます		^{さんぽ} 散歩します	
^た 食べます		^き 来ます	



チェックポイント

まず学習者に表を埋めさせ、辞書形の理解を確認する。できていなければ、1グループ・2グループ・3グループの分類が理解できているか確認。



チェックポイント

1グループ: 書きます→書く
「ます」の前がウの段になる
2グループ: 寝ます→寝る
語幹にルを添加する。
3グループ: 覚える
来ます→来る
します→する

(れんしゅうしましょう)



名前: いけださん

テニスをします



なこさん

好き

ます



名前: たなかさん

ケーキを食べます



まださん

好き

をつく
を作ります



名前: 先生

何で: ?



①わたしの好きなこと・好きじゃないこと

わたしは _____ が好きです。

わたしは _____ が好きじゃありません。

②好きじゃないこと(インタビューをしてください)

〇〇さん	好きじゃないこと



活動のポイント

友人や家族の好きじゃないことを家でインタビューさせ、次の時間に日本語で発表させる。

(名詞+好きじゃありません。

動詞(辞書形)+好きじゃありません。どちらを使用してもよい。)

【Ⅱ. 新しい言葉】

Lv.3

③★ い形容詞

え けいようし
絵と形容詞をむすびましょう。

①



②



③



おもしろい

おいしい

たのしい

あじ い かた
※味の言い方



た もの かんが
どんな食べ物があるのか 考えてみましょう。

あまいです

からいです

すっぱいです

しおからいです

にがいです



活動のポイント

形容詞の意味を確認した後、学習者にイラストと形容詞を結ばせる。

〈れんしゅうをしましょう〉



活動のポイント

集大成で今までの文型を使って、作文を書かせる。

わたし

私の好きなもの・好きなこと

[illegible]

【参考文献】

- ・溝上慎一（2014）『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』東信堂

【 引用イラスト 】

- ・「かわいいフリー素材 いらすとや」

<http://www.irasutoya.com/>

- ・「無料イラスト」

<https://www.bing.com/images/search?q=%e7%84%a1%e6%96%99%e3%82%a4%e3%83%a9%e3%82%b9%e3%83%88+%e7%8c%ab&qpv=%e7%84%a1%e6%96%99%e3%82%a4%e3%83%a9%e3%82%b9%e3%83%88+%e7%8c%ab&FORM=IGRE>

☆ 『アクティブラーニング型活動への招待 ～ 自分で教材を作ってみませんか ～ 』

✎ 作成メンバー(五十音順):

池谷 知子 (神戸松蔭女子学院大学 准教授)

泉 祐花 (新大阪外国語学院 非常勤講師)

大久保 亜紀 (神戸松蔭女子学院大学 大学院生/KIJ 語学院 非常勤講師)

尾形 文 (神戸松蔭女子学院大学 非常勤講師/兵庫日本語ボランティアネットワーク 事務局長)

神夏磯 晴香 (神戸松蔭女子学院大学 大学院生/大阪文化国際学校 非常勤講師)

重信 楓 (神戸松蔭女子学院大学 大学院生/新大阪外国語学院 非常勤講師)

☆ 委託業務名:

平成 29 年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業【地域日本語教育実践プログラム A】

☆ 事業名称:

地域日本語教室にアクティブラーニング型の活動を広めるためのプログラム

☆ 委託団体:

兵庫日本語ボランティアネットワーク

☆ 協力団体:

(公益財団法人)兵庫県国際交流協会

(公益財団法人)神戸国際協力交流センター

作成日:平成 30 年 3 月 20 日

責任者:兵庫日本語ボランティアネットワーク 事務局長 尾形文